

機械部門

機械部門は、国・地域ごとの安定的な食料生産に貢献する農業機械および農業関連商品や、エンジン、建設機械により構成されています。

クボタグループの主要製品



トラクタ

主に耕うん・整地・運搬などの農作業を行います。



コンバイン

米や麦、豆類などを刈り取ると同時に脱穀します。



田植機

稲の苗を水田に移植します。省人・軽労化に大きく貢献します。



ユーティリティビークル

農作業、土木作業、レジャーなど多目的に活躍します。



ミニバックホー

土木作業などを行います。市街地など狭い現場を得意とします。



コンパクトトラックローダー

主に建設現場や農場などで、運搬・積込作業を行います。



エンジン 産業用小型汎用エンジンとして、多様なニーズに対応します。

ディーゼル

ガソリン・LPG・天然ガス

Kubota's Innovation

■ クボタがめざすスマート農業

就農者の高齢化や農家の大規模化を背景に、今、高収量・高品質な農作物を効率的に生産することが世界的に求められています。クボタは、ICT(情報通信技術)やロボット技術を農業にいち早く取り入れることで省力化や精密化を実現するスマート農業を実現し、これからも豊かで安定的な食料の生産に貢献していきます。

クボタスマートアグリシステム(KSAS)

最先端技術とICTを融合させた営農支援システム。データで農業を「見える化」し、経験や勘に頼らない効率的な農業を支援します。



自動運転農機「アグリロボ」シリーズ

クボタは、稲作の主要な農機3機種(トラクタ・コンバイン・田植機)の自動運転農機「アグリロボ」シリーズを取り揃えました。自動運転農機による一貫作業体系の実現に向けて、今後もICTやロボット農機の開発を推進し、日本農業の課題解決に努めてまいります。



TOPICS

タイにおいて、実証型農場「クボタファーム」を開設

クボタは、1978年にタイに製造販売拠点を設け、ASEAN地域における農業の機械化を推進し、地域経済の発展に貢献してきました。特に近年は、現地の作物・ほ場条件・作業体系に適した農業機械の研究開発を進めており、2016年にはタイに研究開発拠点「Kubota Research & Development Asia」を設立し、製品ラインアップの拡充を加速させています。

こうした取り組みの一環として、2020年8月に「クボタファーム」をタイ国内に設立。広大な実証型農場を自社で運用することで、最

新の機械や技術を活用した農作物の生育方法や管理手法の研究・実証を自社施設内で行うことが可能となりました。さらに、販売ディーラーや農家のお客様に最先端の農業技術を体感いただける場として活用することで、販売促進や地域の農業の担い手育成にも貢献することができます。

今後も、成長を続けるASEAN地域に密着した事業活動を強化し、現地の農業の発展に貢献していきます。



開所式にご臨席されたタイのシリントーン王女殿下



クボタファーム内の水田